

第 1 交通機動隊

1 概 要

交通機動隊は、本隊を水戸市東野町 2 4 7 番地の 2 に置き、下妻市に県西方面隊、日立・潮来・竜ヶ崎の 3 ヲ所に各分駐隊を置いて、国道や県道等幹線道路における白バイを主体とした機動警ら活動を実施するとともに、交通死亡事故等の重大事故が多発している警察署管内を重点とした速度違反等の悪質な交通違反取締り等の交通死亡事故抑止対策を推進した。

2 運用状況

本隊、県西方面隊及び各分駐隊を活動拠点として、当番勤務及び日勤勤務制により、交通死亡事故の多発路線、多発時間帯に合わせた機動警ら活動、交通要点における街頭監視活動等を実施した。

さらに、交通死亡事故多発警察署管内に隊員を大量動員した特別集中取締りを実施して交通死亡事故等重大事故の抑止に努めた。

3 活動状況

(1) 交通指導取締り状況

ア 交通指導取締り活動においては、死亡事故に直結する飲酒運転・最高速度違反・信号無視等の交差点違反に重点指向するとともに、一般ドライバーや自転車利用者、歩行者の交通マナー向上を図るため、安全確認方法や横断方法等についても積極的な指導・警告を実施した。

イ 暴走族の取締りを強化し、夜間の住宅地等においてゲリラ的な爆音暴走族及び悪質な整備不良車両に対する取締りを実施した。

ウ 高速抑止装置 3 機を運用し、深夜、早朝における死亡事故に直結する著しい速度違反を検挙した。

エ 平成 1 5 年中における交通違反の検挙（告知）件数は 52,545 件であり、違反種別では最高速度違反が最も多く 27,479 件であった。

主な交通違反の検挙（告知）件数は次のとおりである。

違 反 種 別	件 数	違 反 種 別	件 数
無免許運転	206	整備不良車両運転	2,021
飲酒運転	1,246	通行区分等	542
最高速度	27,479	一時不停止	2,181
信号無視	1,250	シートベルト ヘルメット等着用義務違反	16,088

(2) 暴走族に対する特別取締りの実施

毎週末、年末年始、ゴールデンウィーク等暴走族に対する特別取締りを実施して、暴走行為の一掃を図るとともに、年末には、埼玉県警等隣接県警との合同による常磐自動車道三郷ICにおける初日の出暴走族を封圧するための検問を実施した。

(3) 刑法犯等の検挙状況

平成 1 5 年クライムカットダウン作戦（犯罪総量抑制対策）の実施に伴い、交通違反取締りのみにとらわれることなく、徹底した職務質問、各種照会により、傷害（1 件）窃盗（6 件）銃刀法違反（1 件）その他（1 1 件）の刑法犯計 1 9 件、特別法違反（覚せい剤取締法）5 件を検挙した。

(4) 交通死亡事故多発警察署管内に対する集中取締り、路線・ゾーン対策の実施

ア 集中取締りの実施

交通死亡事故が多発している警察署管内に、本隊・分駐隊等の隊員を一定期間大量動員した集中取締りを展開し、死亡事故の抑止を図った。

イ 路線・ゾーン対策の実施

交通死亡事故多発路線である国道6号・50号・51号・125号・294号・355号等を「交通死亡事故多発路線」、交通死亡事故が多発している自治体を「交通死亡事故多発市町村」と指定し、これらの路線や、地域に白バイ・パトカーを一定期間大量動員した、路線対策・ゾーン対策とする交通指導取締りを展開して、死亡事故の抑止を図った。

(5) 交通安全教育活動の実施状況

年間を通じ、高校生に対する二輪車の安全な乗車方法を中心とした実技教育の他、自治体、婦人会、企業等に対する二輪車の安全運転実技指導を実施した。

実施回数	延べ出勤人員	延べ出勤車両	延べ受講者数	備考
44回	96名	96台	2,508人	

(6) 全国白バイ安全運転競技大会出場

10月4、5日にひたちなか市新光町「自動車安全運転センター中央研修所」で開催された第34回全国白バイ安全運転競技大会において、団体競技の部1部（9都府県参加）に男子隊員4名（内1名補欠）女性隊員2名が参加し、団体1部総合優勝を果たし、個人の部（101名参加）においては総合第2位に入賞、女子の部（34名参加）においても優勝する好成績を収めた。

(7) 特別活動等

駅伝やマラソン大会での選手の先導、県・市町村・交通安全協会等が行なう交筒安全パレード等の先導を白バイ・パトカーにより実施するとともに、各種の地域イベント会場に白バイを展示して交通事故防止と交通安全意識高揚のための啓発活動を実施した。

実施回数	出勤回数	出勤人員	出勤車両	備考
マラソン先導・広報活動等	85回	217台	213台	